



向台

10月号

平成28年9月30日

中野区立向台小学校

花開く 科学する心

副校長 松井 貴子

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、最近は温暖化の影響で秋の訪れが少し遅いように感じます。それでも、朝晩の涼しさを感じてか、ヒガンバナが咲き始めているのを今年も見つけました。この花は、1日の最低気温が18~20℃になると花が咲き始めるそうです。別名、曼珠沙華（マンジュシャゲ）といい仏教でつかう梵語で「美しい赤い花」のことだそうです。子供の頃、お墓の周りで見かけることが多かったことや毒のある花だと聞いてなんとなく怖い花のイメージがありました。事実、数種類のアルカロイドという植物が出す毒があることから「ドクショウバナ」「ドクユリ」等と名前が付けられていました。でも一方で、科学絵本や図鑑などで調べてみると「クスリグサ」「ムクミトリ」等の名前もついていて、漢方薬として、咳止めや食中毒にも効くとされています。この花の球根をすりおろして貼ると、はれもの、炎症に効き、化膿止めとされているそうです。興味をもって調べていくといろいろなことを知ることができ、楽しくなってくるものです。

自然の中には、不思議がいっぱいあります。雨が続いた後のある晴れた日、登校時の子どもたちが池をじっと見て金魚の動きや蓮の花を観察していました。「何かみつけたの?」と、ひと声かけると花の咲く様子や金魚の泳いでいる深さや泳ぎ方など、昨日との違いをつぎつぎと教えてくれました。普段から子供たちは自然からたくさんのことを学んでいるのだと改めて感じました。そして、その子供が感じたことや考えていることを聞いたり、一緒に調べたりして、たくさんの気づきを対話の中で深めていきたいものです。

ところで、夏休みの自由研究には、児童が科学的な興味をもって調べた力作がたくさんありました。各学級から選ばれた作品を9月に、校内科学展の展示をしました。図画工作展や書初め展と同じように、都や区の科学展があります。本校からも10月8日(土)の「中野区中学校生徒理科研究会」(会場:明治大学)に代表作品を出品します。是非とも、展示会場に足を運んでみませんか。子供たちが、自ら決めたテーマを深く研究した成果をまとめた作品を見ることで、大人も新たな発見をし、感動をすることがたくさんあることでしょう。

<10月の生活目標>

思いやりの気持ちをもって生活しよう

- ・自分のめあてをもとう
- ・互いのよいところを認め合おう

<向台小SNSルール>

1. 悪口を書かない。
2. 相手の寝る時間や、家族との時間を考えて、午後8時30分以降はSNSをしない。
3. 相手に誤解されないように文末の記号や語尾に気を付け、読み直しをする。
4. 返信が遅くても相手に遅いと言わない。
5. SNSをしていなくて分からない人には話の内容を教える。

7月に5・6年生の子供たちが、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSルールを話し合いました。

ご家庭でも子供たちと話し合っってSNSのルールを考えましたか。自分の身を自分で守る力を身に付けたいものです。